

【高校生の就職活動に関するアンケート調査】高校生が会社選びで知りたい情報は「社風・職場の雰囲気」、「一人一社制」企業の 74%が変更希望

株式会社人と未来グループ（本社：東京都港区、代表取締役：佐々木 満秀）の事業会社で、高校生のための就職・採用支援を行う株式会社ジンジブでは、「就職を希望する高校 3 年生」、「高校で就職活動をした社会人」および「高卒採用を行う企業の経営者・採用担当者」に、それぞれ「高校生の就職活動に関するアンケート調査」を実施いたしました。

調査結果サマリー

- 高校生が会社選びに欲しい情報の第 1 位は、「社風・職場の雰囲気」64%。
- 高校生 3 年生が「先生以外に相談したい」と答えたのは、77%。卒業後への同質問は 89%。
- 9 月の企業への応募時期に複数社応募したいと答えた高校生は 34%。
- 高校生の採用活動ルール、企業が最も変更したいルールは「一人一社制」で 74%。

調査背景

高校新卒の採用市場は、過去 6 年で求人件数が約 2 倍の約 47 万件に急増している、注目が集まる採用マーケットです。高卒就職者は大卒就職者の半分、毎年約 18 万人が就職しており、内定率の高さ（2019 年 3 月卒 99.4%）では問題のないようですが、18 歳人口の減少、新時代に対応した高等学校改革におけるキャリア教育、また就職後の 1 年目の早期離職が大卒と比較して高い（大卒の 11.9%と比較し、18.2%）など課題は残されており、一人一社制などの長年続く就職活動のルール見直しの必要性が提言されています。

そこで今回当社では、より実態を把握すべく、就職を希望する高校生、高校で就職活動をした社会人、そして高卒採用を行う企業へのアンケートを実施いたしました。

調査概要

- 【調査期間】 2019 年 3 月 19 日（火）～4 月 10 日（水）
- 【調査内容】 高校生の就職活動についてのアンケート調査（無記名）
- 【調査対象】
- (1) 2019 年 4 月高校 3 年生（定時制は 4 年）になる全国の就職希望の高校生
 - (2) 高校生で就職活動を行った全国の社会人
 - (3) 高卒採用を行う企業の経営者・採用担当者
- 【回答方法】 紙での回収（当社スタッフへの手渡し、FAX にて送付）／WEB アンケート
- 【有効回答数】 (1) 908 名 (2) 284 名 (3) 460 名

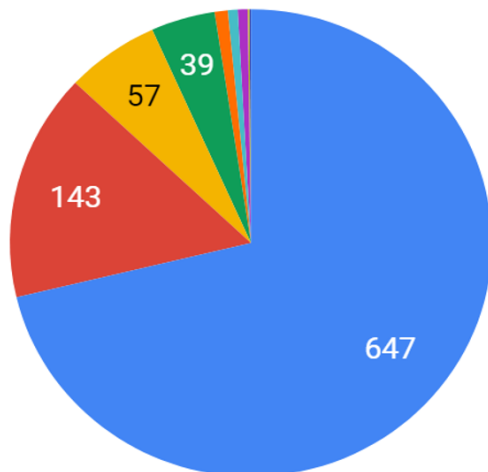
高校生の就職活動に関するアンケート調査（高校３年生）

回答者属性

住まいの地域

1-1. お住まいの地域を教えてください

N = 908



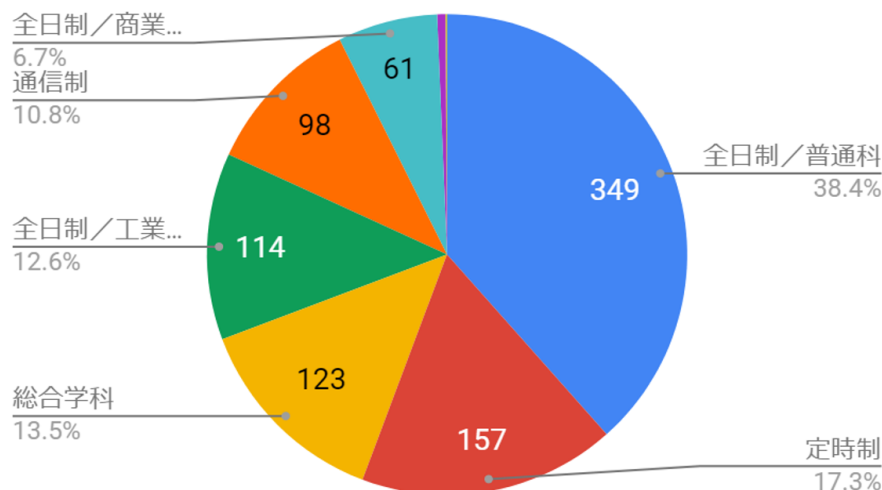
関東・京浜	647
東海・近畿	143
京阪神	57
北九州	39
未回答	8 (0.9%)
南九州・四国	6 (0.7%)
北海道・東北	6 (0.7%)
北陸・甲信越	1 (0.1%)
山陰・山陽	1 (0.1%)

 ジョブドラフト

学校種別

1-2. 学校種別を教えてください

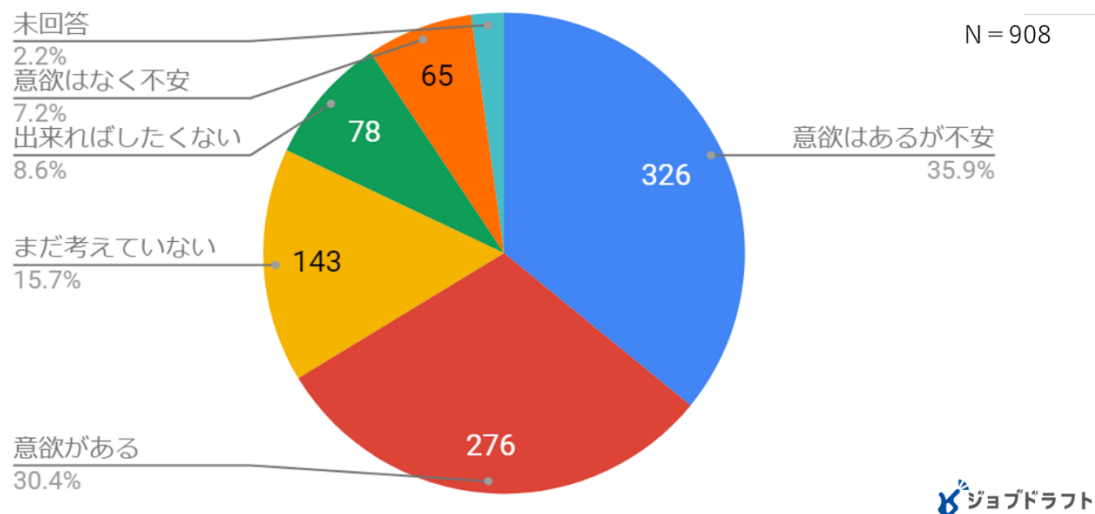
N = 908



全日制／普通科	350
定時制	157
総合学科	123
全日制／工業高校	114
通信制	99
全日制／商業高校	61
未回答	5
特別支援学校	1
	1

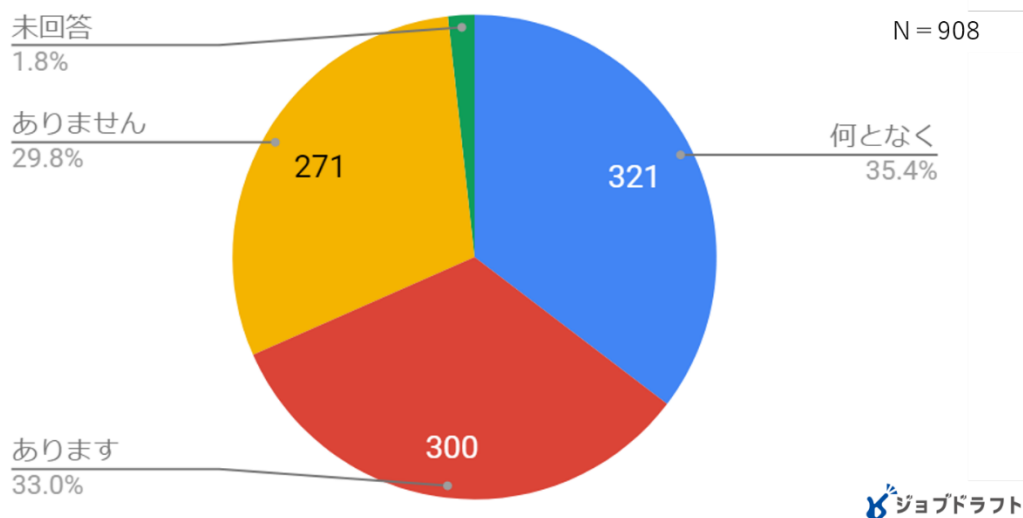
 ジョブドラフト

1-3. 就職活動への意欲はありますか？



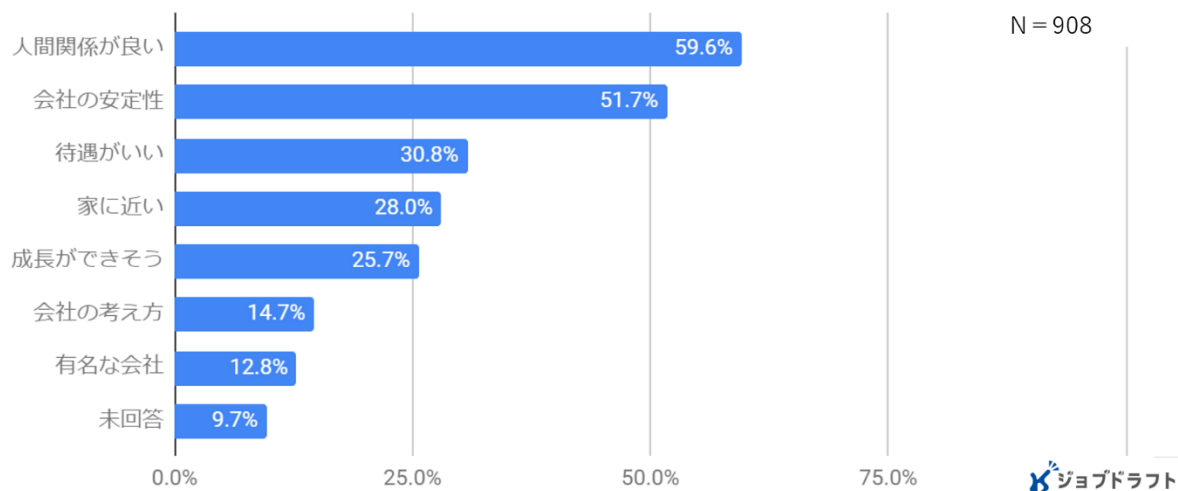
「就職活動への意欲はありますか？」という質問したところ、「意欲がある（30.4%）」「意欲があるが不安（35.9%）」を含め、意欲を持っている回答が66.3%を占めています。

1-4. 将来の夢はありますか？



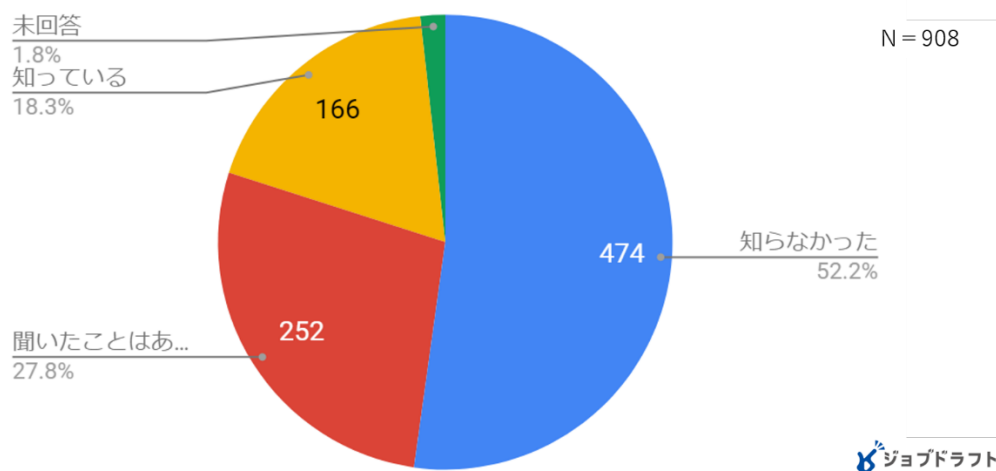
「将来の夢はありますか？」という質問したところ、33%が「あります」、35.4%が「何となくある」、29.8%が「ありません」と回答しました。

1-5. どんな会社に入りたいと思いますか？（複数回答可）



「どんな会社に入りたいと思いますか？」を質問したところ、第1位は「人間関係が良い」（59.6%）、第2位は「会社の安定性」（51.7%）、第3位は「待遇がいい」（30.8%）、第4位は「家に近い」（28%）と回答しました。

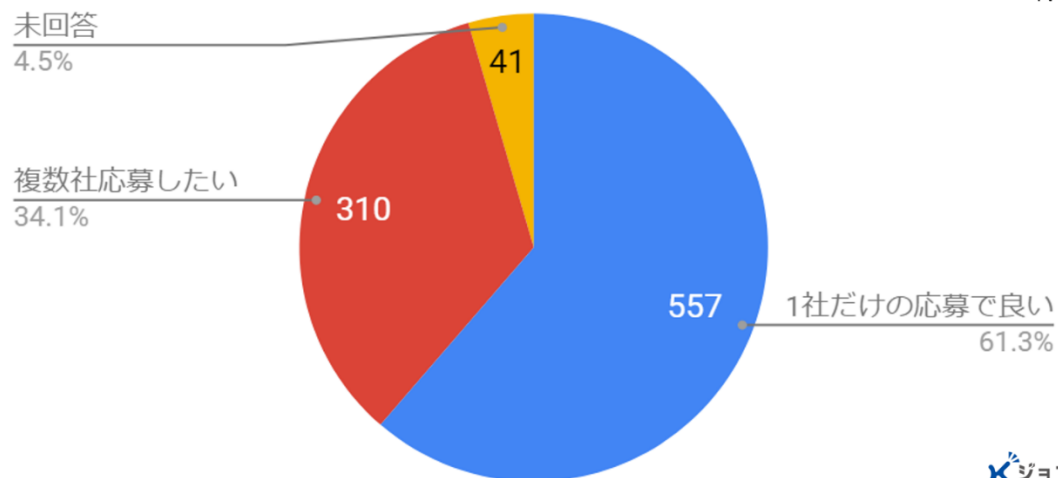
1-6. 就職活動のスケジュールを知っていますか



「就職活動のスケジュールを知っていますか？」と質問したところ、52.2%が「知らなかった」、27.8%が「聞いたことはあったが詳しくは知らなかった」、18.3%が「知っている」と回答しました。

1-7. 9月からの面接時期には1社ずつしか応募できません。同時に複数社応募したいですか？

N = 908



ジョブドラフト

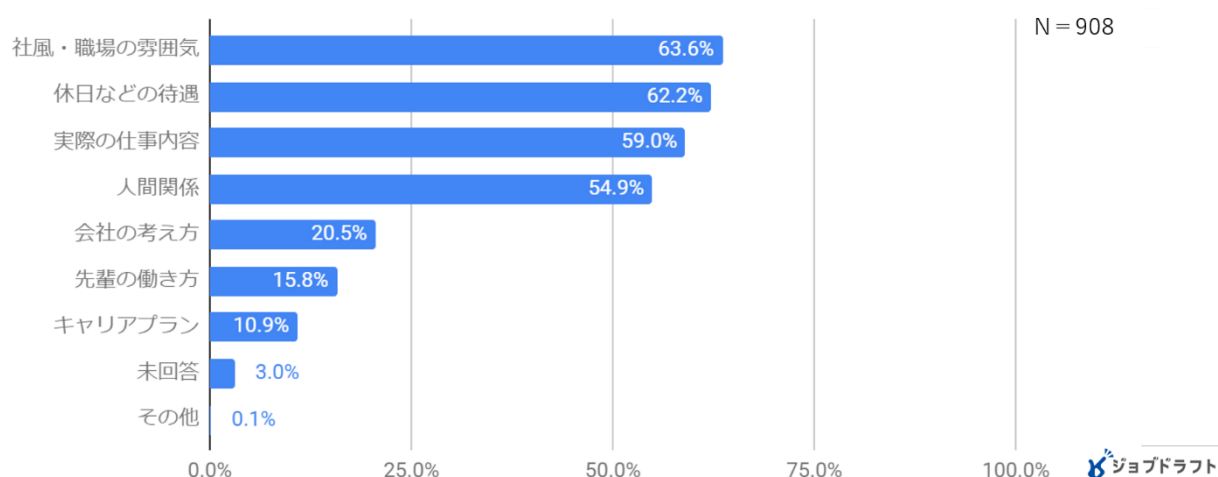
「9月からの面接で複数社に応募がしたいか」質問をしたところ、「1社だけの応募で良い」が61.3%、「複数社応募したい」が34.1%、「未回答」が4.5%でした。

1-7. 質問6. で、複数応募したいと答えた場合、理由を教えてください。（自由記述）

主な回答（自由記述より、明記のあったワードを抜粋しています）

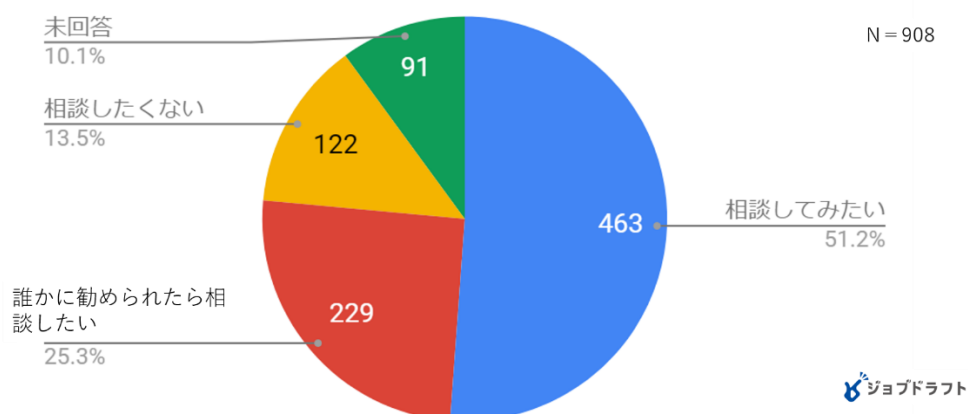
回答内容	数
1社では不安	52
落ちた時に次に挑むため	27
可能性を増やしたい	9
複数社受けた方が安心	9
受かる可能性が高まる	8
多くの企業を受けたい	7
色々見てみたい	2
興味・知りたい	2

1-9. 会社を選ぶ際に知りたいと思う情報は何ですか？（複数選択可）



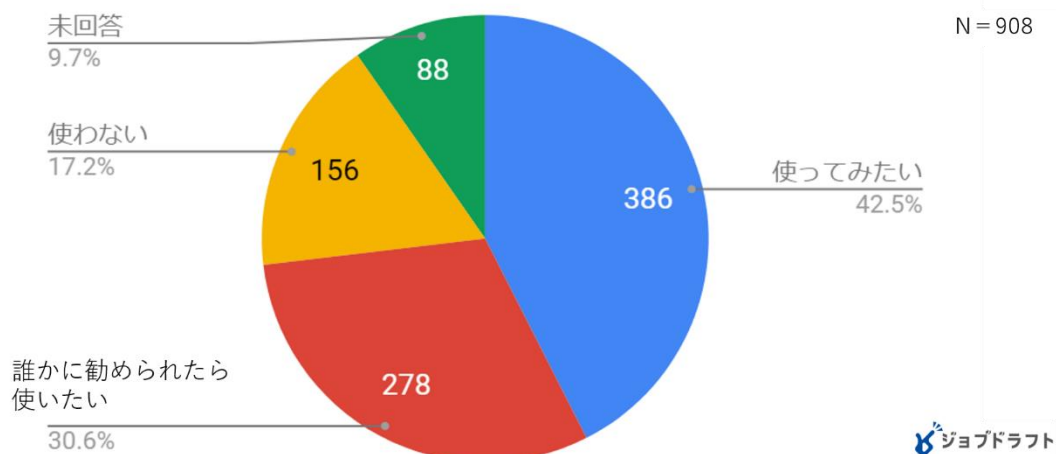
2019年4月に高校3年生になった就職希望の生徒へ「会社を選ぶ際に知りたいと思う情報」を質問したところ、第1位が「社風・職場の雰囲気」（63.6%）、第2位が「休日などの待遇」（62.2%）、第3位が「実際の仕事内容」（59%）、第4位が「人間関係」（54.9%）でした。

1-10. 学校の先生以外に就職の相談に乗ってくれる人や会社がいれば相談したいですか？



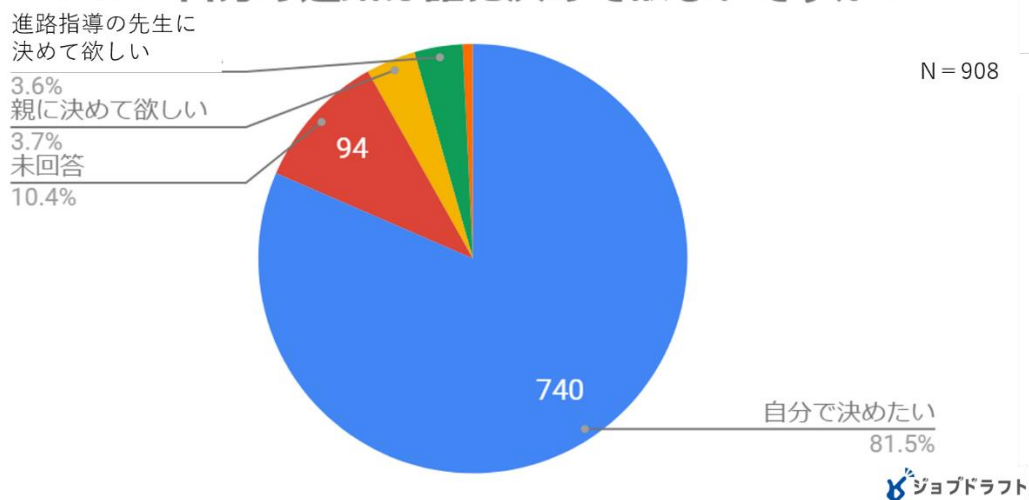
「学校の先生以外に就職の相談に乗ってくれる人や会社がいれば相談したいですか」と質問したところ、「相談してみたい（51.2%）」「誰かに勧められたら相談したい（25.3%）」を含めて、76.5%が相談したいと回答しました。

1-11. スマホの就活アプリ【会社の情報や就職活動情報（面接対策・履歴書の書き方など）が分かる】があれば、使ってみたいですか？



「スマホの就活アプリ【会社の情報や就職活動情報（面接対策・履歴書の書き方など）が分かる】があれば、使ってみたいですか？」と質問したところ、「使ってみたい（42.5%）」「誰かに勧められたら使いたい（30.6%）」を含めて、73.1%が使いたいと回答しました。

1-12. 自分の進路は誰に決めて欲しいですか？



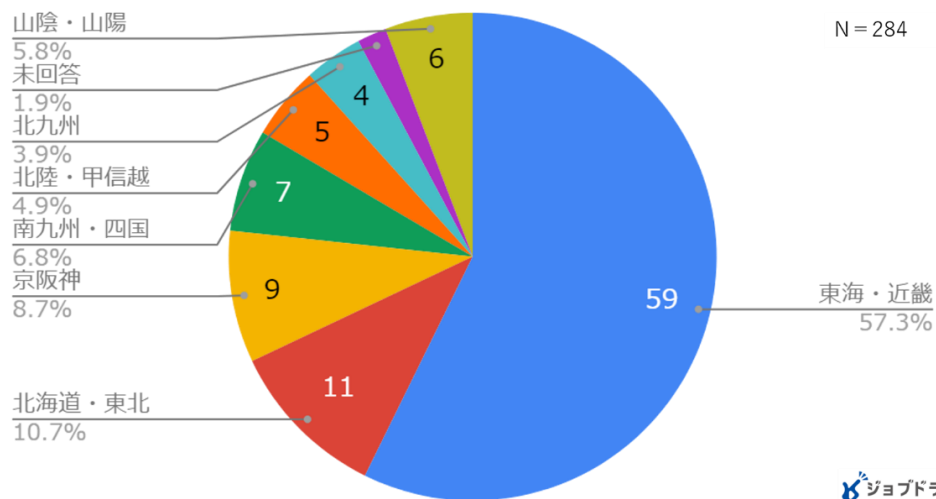
「自分の進路は誰に決めて欲しいですか？」と質問したところ、81.5%が「自分で決めたい」と回答しました。

高校生の就職活動に関するアンケート（既卒社会人）

回答者属性

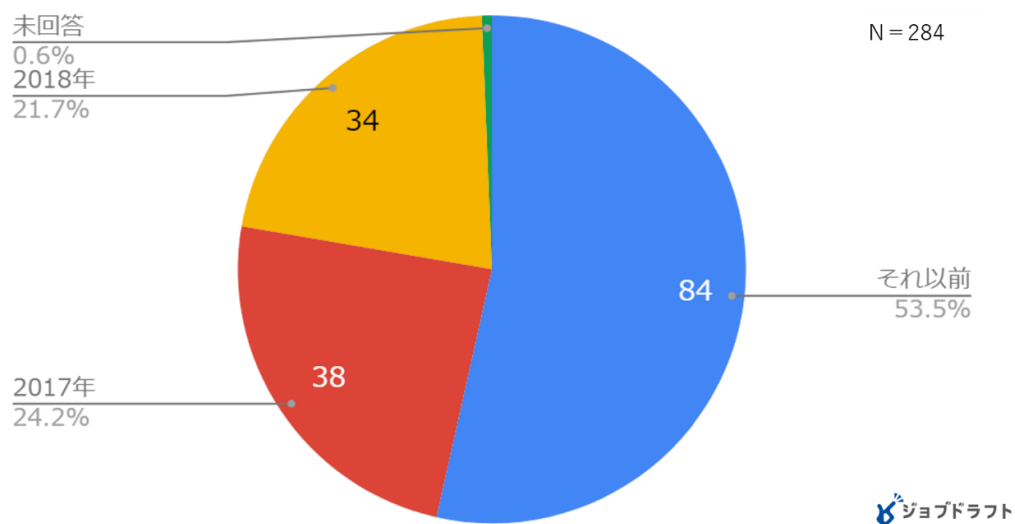
住まいの地域

2-1. お住まいの地域を教えてください。



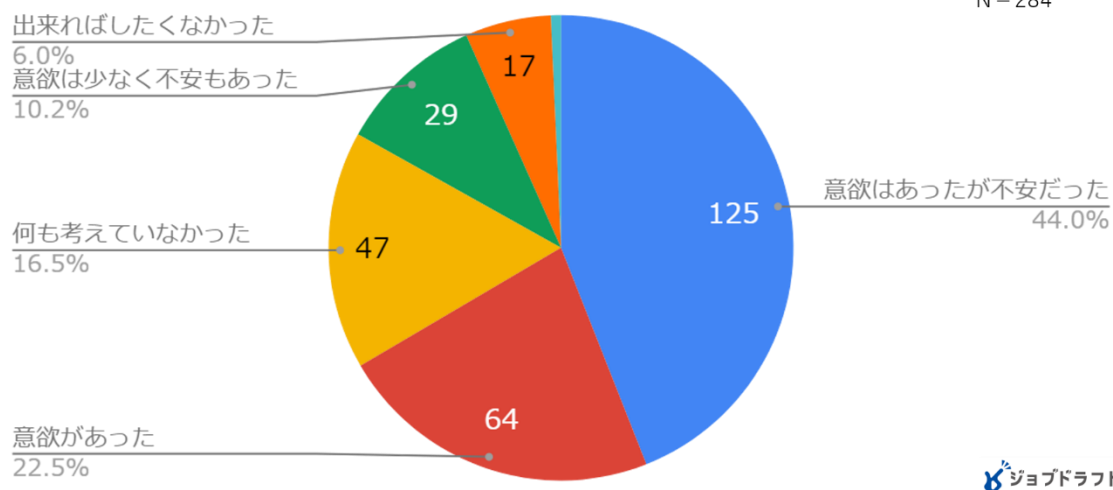
卒業年度

2-2. 何年に社会人になりましたか？



2-3. 就職活動を振り返って、就職活動に対する意欲はどうでしたか？

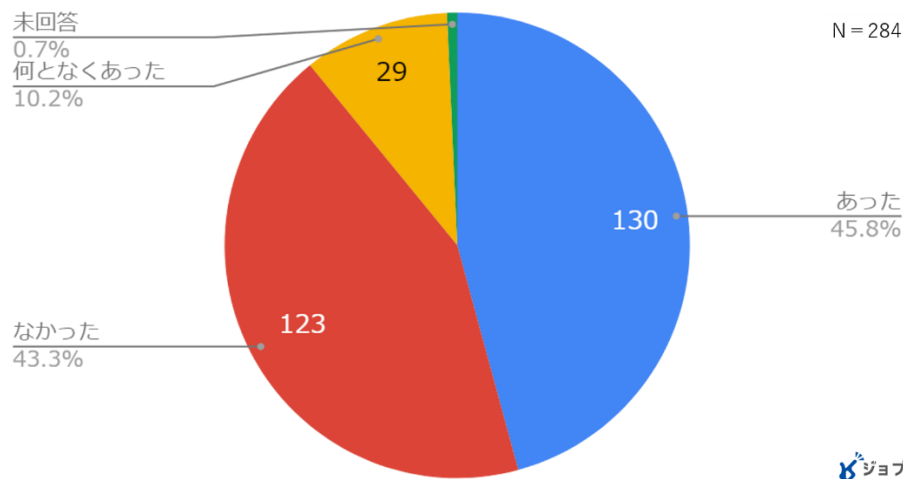
N = 284



「就職活動の意欲」に関する質問をしたところ、「意欲がある（22.5%）」「意欲があるが不安（44%）」を含め、66.5%が意欲を持っていたという回答しました。

2-4. 就職活動中に夢はありましたか？

N = 284

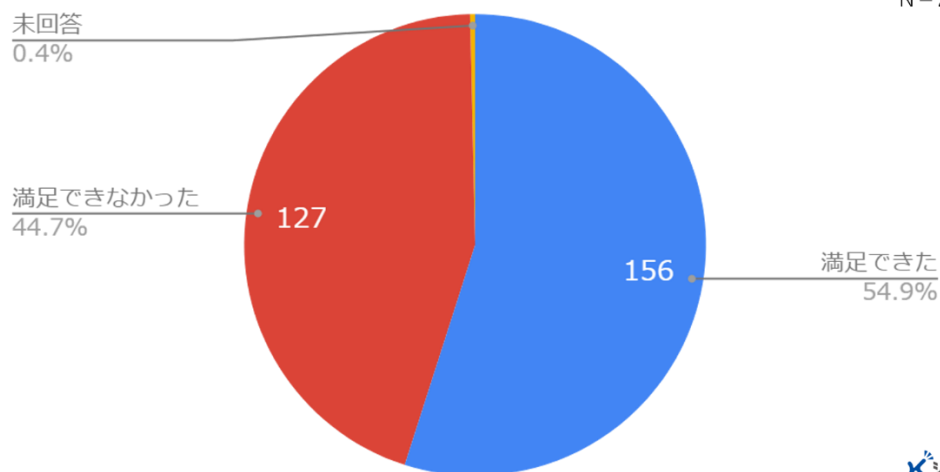


「将来の夢はありましたか？」という質問をしたところ、45.8%が「あった」、10.2%が「何となくあった」、43.3%が「なかった」と回答しました。

就職活動について

2-5. 「求人票」での会社の情報収集を行うことに満足できましたか？

N = 284

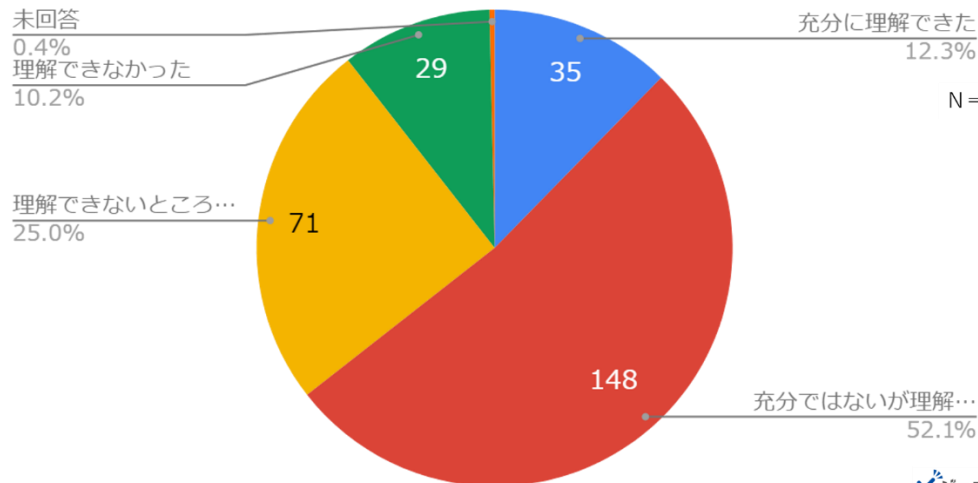


ジョブドラフト

高校生の就職活動では、求人票を使って求人情報を得ます。「“求人票”での会社の情報収集を行うことに満足できましたか？」という質問をしたところ、54.9%が「満足できた」、44.7%が「満足できなかった」と回答しました。

2-6. 「求人票」を見て会社のことは理解できましたか。

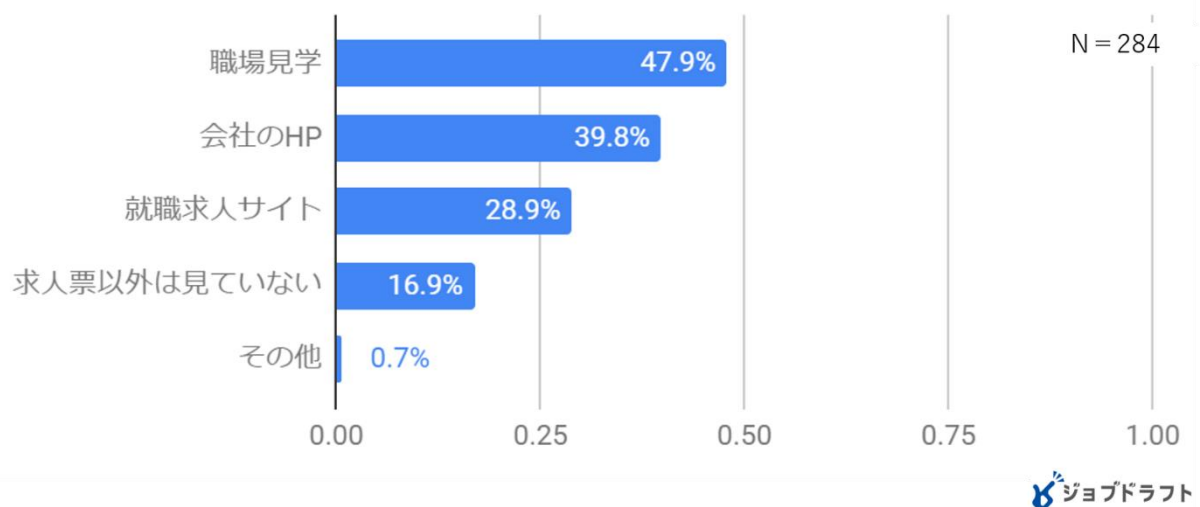
N = 284



ジョブドラフト

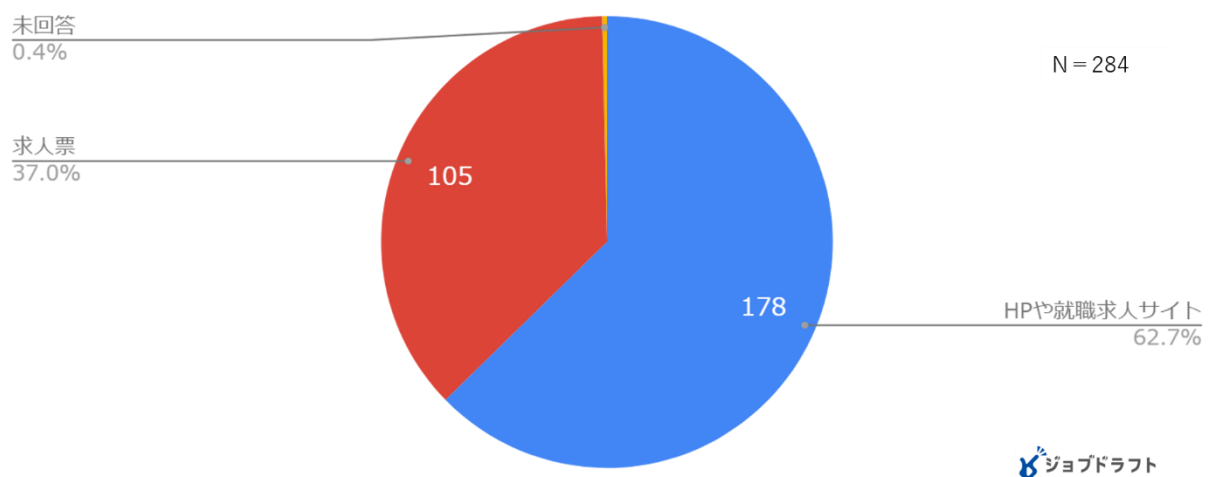
「“求人票”を見て会社のことは理解できましたか」と質問をしたところ、12.3%が「十分に理解できた」、52.1%が「充分ではないが理解できた」と回答し、25%が「理解できないところがあった」、10.2%が「理解できなかった」と回答しました。

2-7. 他にどんな手段で企業の情報を収集しましたか？（複数回答可）



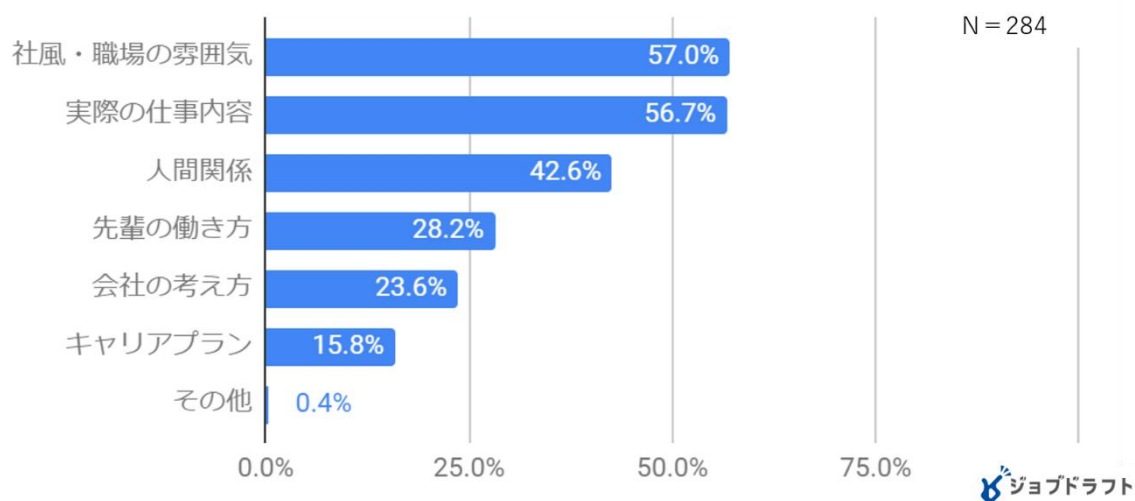
「求人票の他にどのような情報収集をしましたか？」と質問をしたところ、第1位が「職場見学」（47.9%）、第2位が「会社のHP」（40%）、第3位が「就職求人サイト」（28.9%）、第4位が「求人票以外見ていない」（16.9%）と回答しました。

2-8. 求人票とHPや就職サイトのどちらが会社の魅力が分かりますか？



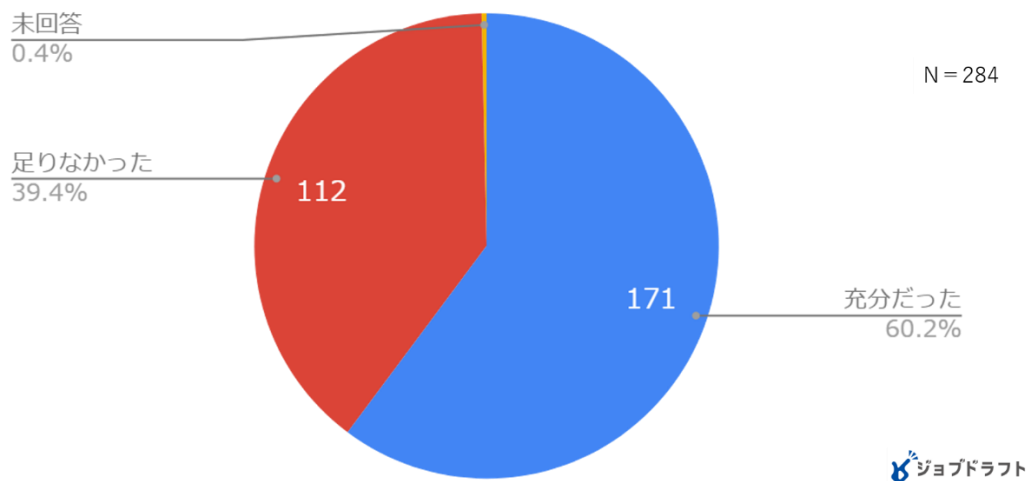
「求人票とHPや就職サイトのどちらが会社の魅力が分かりますか？」という質問をしたところ、62.7%が「HPや就職求人サイト」と回答しました。求人票の理解は一定あるものの、会社の魅力は「HPや就職求人サイト」で感じていることが分かります。

2-9. 入社前にどんな情報が会社選びに欲しかったですか？（複数回答）



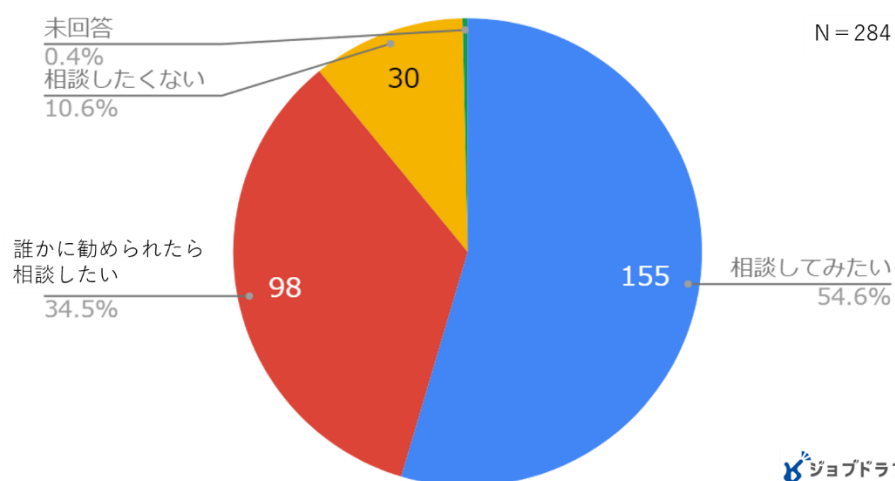
「入社前にどんな情報が会社選びに欲しかったですか？」と質問をしたところ、第1位が「社風・職場の雰囲気」(57%)、第2位が「実際の仕事内容」(56.7%)、第3位が「人間関係」(42.6%)、第4位が「先輩の働き方」(28.2%)、第5位が会社の考え方、第6位がキャリアプランでした。

2-10. 進路指導の先生からの情報やサポートは、会社選びを行うにあたって足りていましたか？



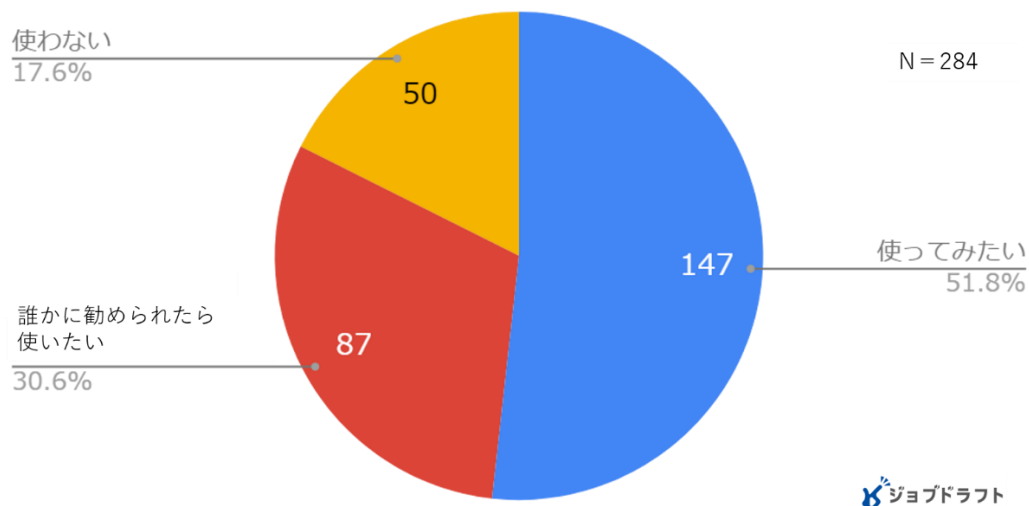
「進路指導の先生からの情報やサポートは、会社選びを行うにあたって足りていましたか？」と質問をしたところ、60.2%が「充分だった」と回答、39.4%が足りなかったと回答しました。

2-11. もう一度就職活動をするとしたら、学校の先生以外に就職の相談に乗ってくれる人や会社がいれば相談したいですか？



「もう一度就職活動をするとして、学校の先生以外に就職の相談に乗ってくれる人や会社がいれば相談したいですか？」という質問をしたところ、「相談したい（54.6%）」、「誰かに勧められたら相談したい（34.5%）」を含めて、89.1%が相談したいと回答しました。

2-12. もう一度就職活動をするとしたら、就活アプリがあれば使ってみたいですか？



「もう一度就職活動をするとして、就活アプリがあれば使ってみたいですか？」という質問に、「使ってみたい（51.8%）」「誰かに勧められたら相談したい（30.6%）」を含めて、82.4%が相談したいと回答しました。

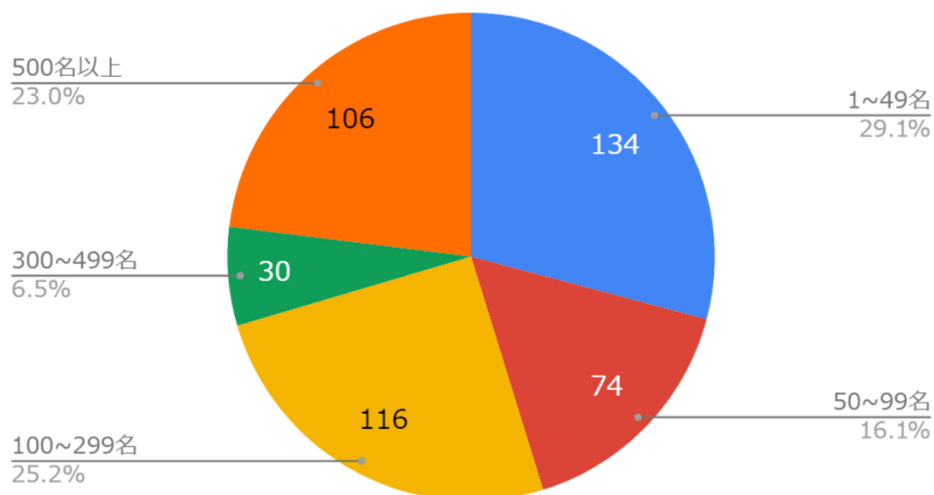
高校生の新卒採用活動に関するアンケート（企業）

回答者属性

会社規模

3-1. 会社規模

N = 460

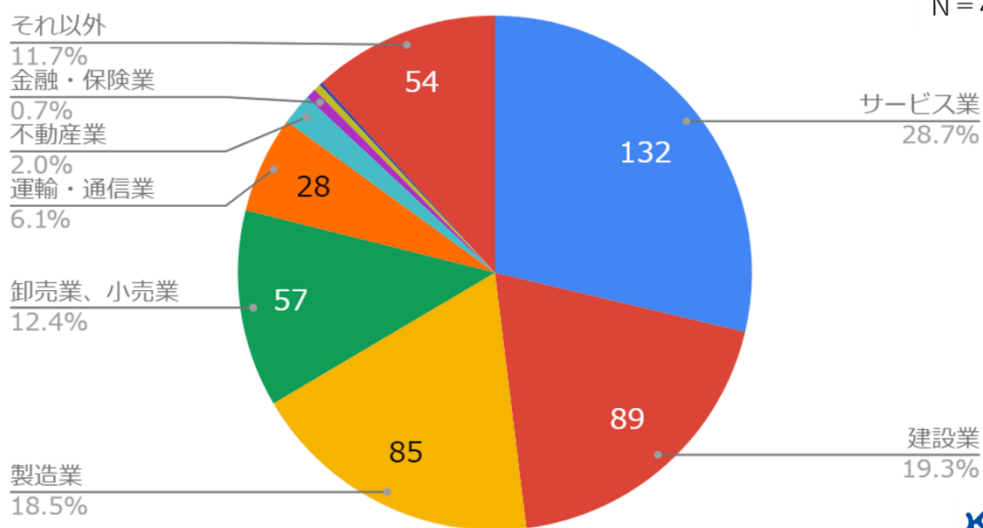


ジョブドラフト

業種

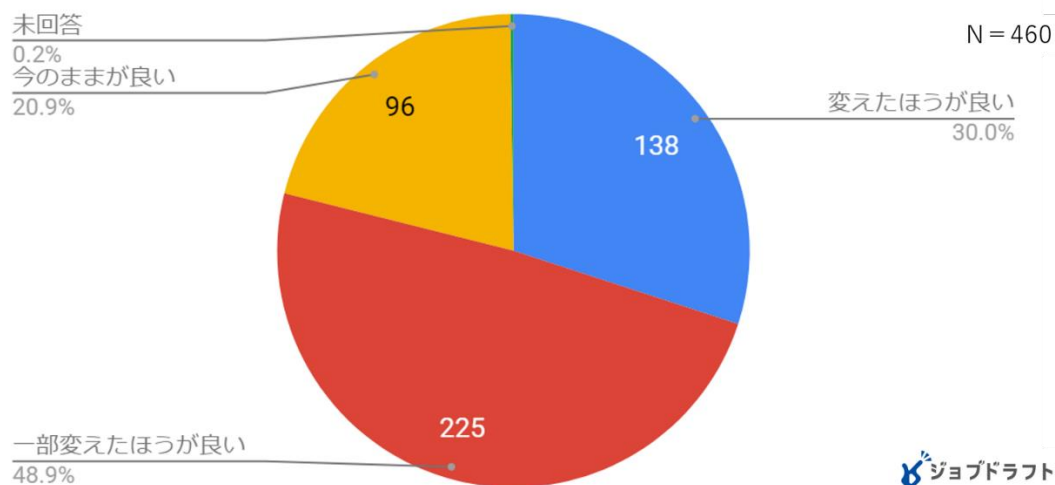
3-2. 業種

N = 460



ジョブドラフト

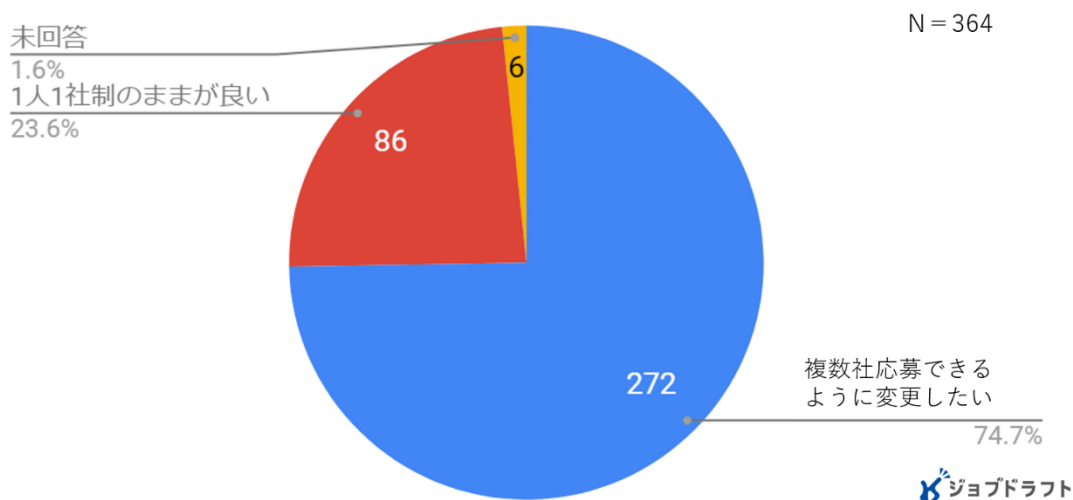
3-3. 現行のルールを変えたほうが良いとお考えですか？



高校生の採用活動のルールについて、「現行のルールを変えた方が良いか」質問したところ、30%が「変えた方が良い」、48.9%が「一部変えた方が良い」、20.9%が「今のままが良い」と回答しました。

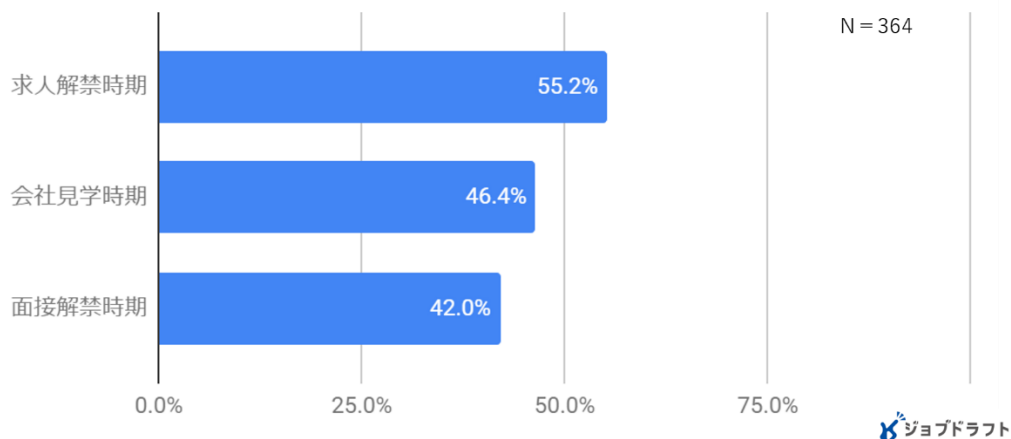
以下、「変えた方が良い」「一部変えた方が良い」「未回答」と回答した、364名への質問へと続きます。

3-4. 一人一社制について変更したいですか？



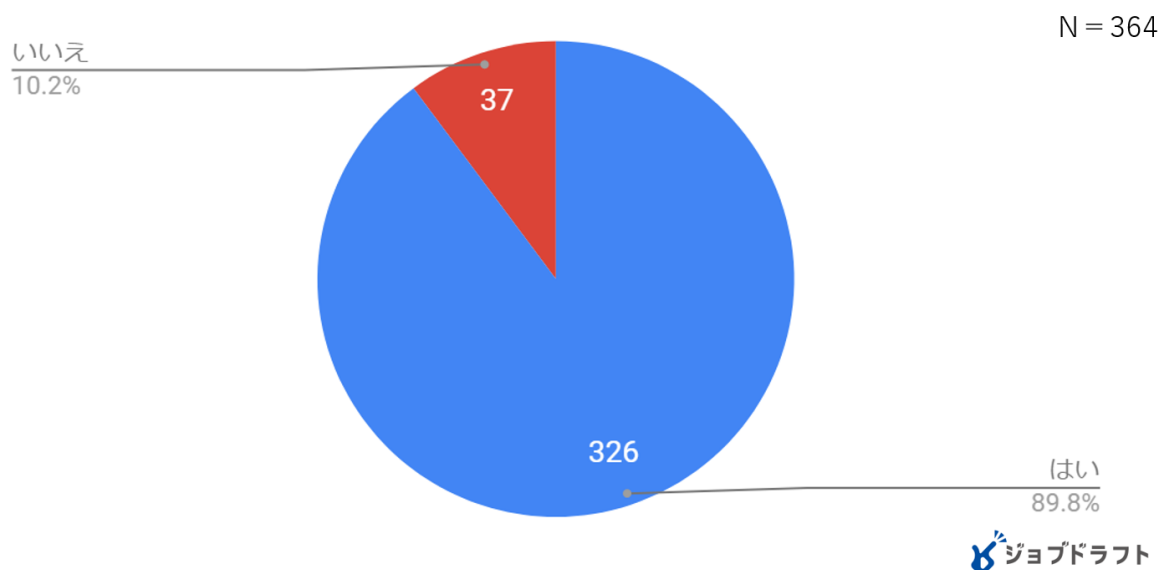
採用活動の現行ルールを「変更した方が良い」と返答した364名に、「一人一社制を変えたいか」と質問したところ、「複数社応募できるよう変更」が74.7%、「一人一社制のままで良い」が23.6%と回答しました。

3-5. 採用活動時期はどの時期を変更したら良いと思いますか？（複数選択可）



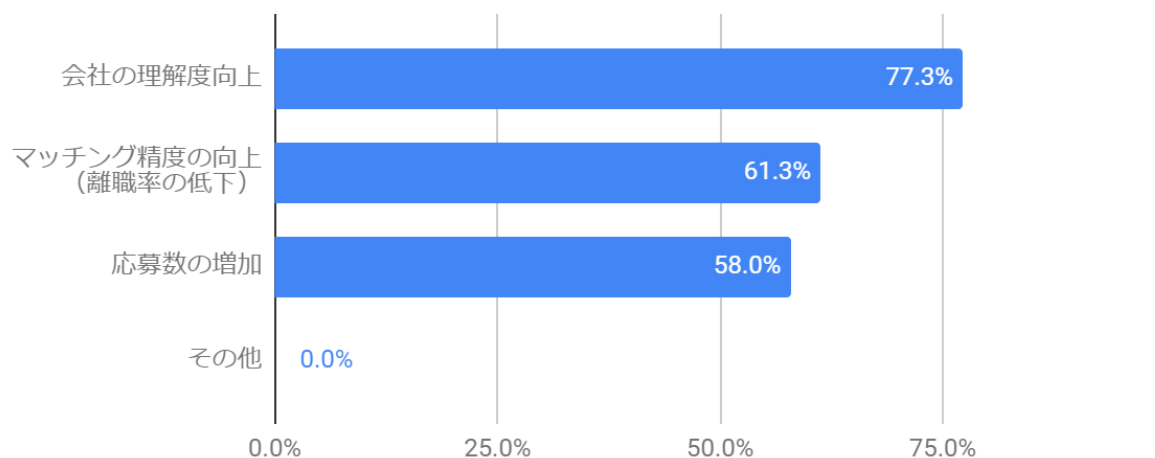
「採用活動で変更した方が良い時期があるか」を質問（複数選択可）したところ、第1位が求人解禁時期（55.2%）、第2位が会社見学時期（46.4%）、第3位が面接解禁時期（42%）と回答がありました。

3-6. 民間企業による就職斡旋は、採用活動にとってプラスになるとおもいますか？



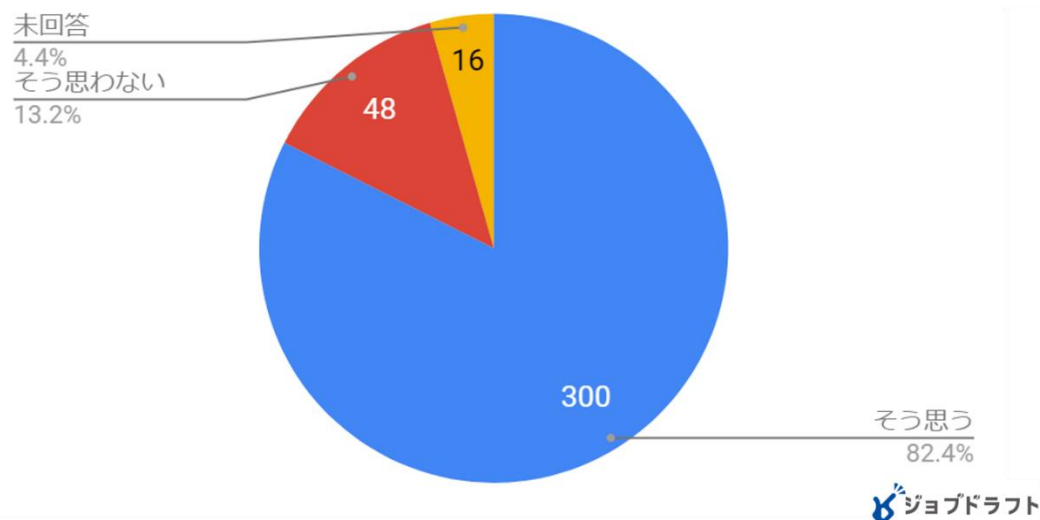
「民間企業による職業斡旋は採用活動にとってプラスになるとおもいますか？」と質問したところ、89.8%が「はい」、10.2%が「いいえ」と回答しました。

3-7. 民間企業による就職斡旋は、採用活動にとってどんな点がプラスになりますか？（複数選択可）



また、上記質問に「はい」と回答した方 326 名に、「民間企業による就職斡旋は採用活動にとってどんな点がプラスになるか」を質問したところ、第 1 位が会社の理解度向上（77.3%）、第 2 位がマッチング精度の向上・離職率低下（61.3%）、応募数の増加（58%）と回答しました。

3-8. 高校生が企業に直接応募する機会があった方が 良いと思いますか？



高校生が企業に直接応募する機会があった方が良いと思うか質問したところ、82.2%が「そう思う」、13.4%が「そう思わない」と回答しました。

<アンケート調査結果を受けて>

本アンケート調査結果を受けて、高校生が就職する会社を選ぶ際に欲しい情報は、「社風・職場の雰囲気」、「休日などの待遇」、「実際の仕事内容」、「人間関係」が上位で、既卒社会人の結果と比較しても、求人条件以外の情報を必要としていることが分かります。また、77%の高校3年生、89%の既卒社会人は学校以外に相談に乗ってくれる企業や人がいれば相談したいと回答し、9月応募時期の一人一社制に関しては、複数社応募したいと回答した高校生が34%いました。理由では「1社応募では不安」との声が多くありましたが、主体的に就職活動を行いたい高校生が一定数いることが読み取れます。

一方、高卒採用を行う企業の担当への現状の採用活動で改善した方が良いルールに関する質問で、最も意見が多かったのは「一人一社制」(74.7%)でした。次いで求人情報解禁時期だったことから、現行の仕組みだけでは、企業側は自社の情報が十分に高校生に届いていないと感じていることが分かります。 当社では、高校生・企業双方にとって満足できる情報発信を可能にするため、就職情報メディアやイベント運営などのサービスの向上をさせると共に、現行の就職活動ルールについて双方にとってメリットが生まれるよう、民間企業として規制改革の働きかけを行ってまいります。今後も、より良い就職活動環境を創るための、高校生の就職活動にまつわる意識調査や行動調査を行ってまいります。

＜サービス立ち上げのきっかけ＞

代表取締役の佐々木は高校生時代、進路指導教員から紹介される企業の選択肢が少なく、自分で求人情報誌を手にして、就職先を探す経験をしました。それから 30 年、高卒採用が未だに、長年の規制や慣習が変わらず多く存在していることを知ります。ジョブドラフトは新しい時代の中で、就職する高校生が学歴や「高卒」という偏見に捉われることなく、ファーストキャリアを選択し活躍できる社会を創ること、企業の採用・教育支援のため「18 万人の高校生と企業の未来を輝かせる」をミッションに掲げ、2019 年 3 月末現在、延べ 1,600 社の企業にご活用頂いております。

＜ジョブドラフトの特徴＞

掲載数 No.1 の高校新卒専門求人サイトの運営や、高校現場周りやイベント、SNS での就職支援を行い、高校生が自主的な企業選びをする支援及び、企業の高校新卒の採用支援を行っています。

●掲載社数 No.1 サイト 高校生の就職を支援する「ジョブドラフト」 (<https://job-draft.com/>)

これまで文字情報のみだった企業の「求人票」の情報を、高校生目線で取材・掲載します。会社の雰囲気・先輩インタビューなど写真や動画を用いて紹介しています。

(2019 年 3 月末まで述べ 1,600 社の採用支援実績)

求人情報と就職活動ノウハウを冊子に編集した「ジョブドラフト BOOK 版」は 2019 年 7 月 (20 卒向)、エリア別に発行し、全国の就職実績のある高校へ配布します。

※取材は「サポートプラン」「高卒採用基本パッケージ」に含まれたサービスです。

「掲載エントリープラン」の場合は、掲載企業により原稿を入力頂きます。



●高校現場と SNS での就職相談

関東・関西・福岡の高校現場で、授業での就職ガイダンスや校内合同企業説明会の開催、個別進路相談、インターシップ企業の紹介などのネットワークが強みです。また、LINE@や Twitter など、SNS から直接、高校生の進路相談や求人紹介の相談を受け付けています。

●人事向け勉強交流会「ジンジブクラブ」

ジンジブクラブでは、月に 1 回オンライン上で、企業にとって不明確だった採用活動手法や情報の提供を行います。2019 年 5 月には、交流会を兼ねた大型勉強会を実施しました。(東京・大阪で 220 名集客)

●定着支援「ROOKIE'S CLUB(ルーキーズクラブ)」

「ROOKIE'S CLUB(ルーキーズクラブ)」では、1 年未満の早期離職 (大卒の 11.9%と比較し、18.2%※) を防止するため、入社後の定着率を高める 1 年間を通じた研修とメンテナンスサービスを行っています。(2019 年は東京・大阪にて実施中。)

※新規学卒就職者の離職状況 (平成 27 年 3 月卒業者の状況) 厚生労働省発表

◆株式会社ジンジブ (<https://jinjib.co.jp/>)

所在地 : 東京都港区芝大門 2 丁目 3-1 常泉ビル 4 階

代表取締役: 佐々木 満秀

事業内容 : 事業ミッション「18 万人の高校生と企業の未来を輝かせる」

企業の若手採用と、高校新卒が学歴や偏見に捉われることなく活躍できる社会を創るため、高校新卒専門の求人サイト「ジョブドラフト」および就職・採用支援、入社後の定着を目的とした ROOKIE'S CLUB(ルーキーズクラブ)を運営しています。企業の「人事部」として採用・教育・メンテナンス・評価での支援事業を展開してまいります。

2016 年「革新ビジネスアワード 2016」(主催:イノベーションズアイ、フジサンケイビジネスアイ[日本工業新聞社])にて「よい仕事おこし賞」、2017 年「第 106 回かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場」(主催:公益財団法人 川崎市産業振興財団)にて「かわさき起業家優秀賞」を受賞。

◆株式会社人と未来グループ (<https://hitotomirai.co.jp/>)

代表取締役: 佐々木 満秀

事業内容 : グループ各社の経営企画や経営管理、テクノロジー開発。企業理念に「挑戦・創造を繰り返し笑顔あふれる豊かな社会を創り出す」、ビジョンに「世界一人間力高きパイオニアカンパニー」を掲げています。

2017 年「働きがいのある会社」ランキングにおいて従業員 25-99 人部門でベストカンパニーに選出。